

によど川

仁淀川町広報

2009

9月号

大石新町政 スタート

それぞれの夏まつり

地デジで便利な生活

集落見聞録へ上土居第三

始動

藤崎町長からバトンタッチ



8/28初登庁。拍手で迎えられる大石町長

任期満了に伴う町長選挙で無投票当選を果たした大石弘秋新町長は、初代町長として四年間新町の一体化に努めた藤崎富士登前町長からバトンを受け取り、八月二十八日朝、はつらつとした表情で初登庁。大石町政を始動させました。



大石町政

「激動の22年間」

仁淀川町長就任以来四年間、吾川村長時代を含めると十二年余り、皆様方のお力添えにより首長を務めさせていただきました。

この二十二年間は、まさしく激動の時代であり、バブル景気とその崩壊、三位一体の改革、そして市町村合併と激変する社会情勢の中、住民のニーズに 대응べく行動と実践を旨として様々な施策を展開してまいりました。

国、地方とも厳しさを増す財政状況のもと、新町の早期一体化と活性化を図ることが仁淀川町初代首長の最大の責務と考え、行政改革に取り組みとともに、シルバー人材センターの設立、介護事業の改革、コミュニティバスの導入等に取り組んでまいりましたが、激しく変化する社会情勢、少子高齢化の進行等に伴い、今後更に、過疎高齢化に伴い衰退しつつある集落活動の維持、地域資源を活用した地域産業の振興など時代に即した様々な対策が必要になってまいります。

幸いにも、わが町には恵まれた自然資源、伝統文化など優れたものが数多くあり、地域の潜在能力は非常に高いものと考えております。

時代の流れを読み、住民と行政の信頼関係を高め、協働で地域の持つ潜在能力を引き出し、磨き上げれば、魅力的な地域づくりができるものと確信し、大石町長に期待を込めバトンを託します。

藤崎富士登

藤崎富士登前町長

昭和38年5月～昭和62年2月吾川村議会議員在職。

昭和62年2月25日～平成17年7月31日吾川村長在職。



初当選した藤崎氏(左)

平成17年8月から仁淀川町の初代町長として、豊富な行政経験を活かし任期満了までの4年間“町民の幸せと生きがいのある町づくり”に取り組み、町政発展に尽力。



平成17年8月29日に初登庁する藤崎氏(中央)

「信頼と協働で」

我が国の経済は、世界同時不況の影響で先行きが見えず、国、地方の行財政を取り巻く状況も一層厳しいものとなっております。

合併したとはいえ、町の財政状況も厳しく、地域経済が疲弊する中で過疎化、少子高齢化が一層進行するなど、課題も山積しておりますが、藤崎町長の「和を持った一体感のあるまちづくり」の推進により、新町の基礎づくりも一定進み、「仁淀川町」という町名も定着してまいりました。

私も藤崎町政を継承し、地域が元気を取り戻し活性化するように、豊かな自然や数多くの伝統文化など地域の資源や特性を活かして、喫緊の課題である地域経済の活性化に全力で取り組むとともに、行財政の健全化、生活環境の充実、健康福祉の充実、子育て支援・教育環境の整備等々にも取り組み、健康で心豊かに生きがいを持って安全で安心して暮らすことのできる「自然と共生した魅力と活力のあるまちづくり」を目指してまいります。

皆様から信頼される行政の推進と同時に、町民と力を合わせ、知恵を出し合い取り組む「信頼と協働」を基本姿勢に、将来に繋がる自立した町づくりに全力を注ぎ、誠心誠意努めてまいります。

大石弘秋

大石弘秋新町長

昭和42年に県庁入りし、須崎林業事務所長、森林整備課長など歴任。

平成18年に仁淀川町助役に就任(後に副町長)、今年6月末に退職。

任期満了に伴う町長選挙で無投票当選を果たす。



昭和42年 高知県中央林業事務所にて(右)